

# 共学化・常任委員 代表者会議で激論！

全国会員の意見集約にアンケート実施



第1回各期常任委員代表者会議 於 北陵館

同窓会報

平成16年度春季号

発行 宮城県仙台第二高等学校  
同窓会事務局  
仙台市青葉区川内激橋通一  
創文印刷出版株式会社  
仙台市青葉区大手町六番二号  
☎ 二二一五五六五（直通）  
印 刷

## 平成16年度 同窓会総会のご案内

1. 日 時：平成16年7月3日（土）総会17時 懇親会18時（受付時間は16:30～）
2. 場 所：仙台ホテル（仙台駅前）3F大ホール
3. 懇親会費：6,000円
4. 申込締切：6月23日（水）
  - ★出席会費は当日、会場でお支払い下さい。
  - ★出席申込は、下記の申込先に、葉書又はFAXでお願いします。
5. 申込先：〒980-8631 仙台市青葉区川内激橋通1  
仙台二高同窓会事務局 TEL 022-221-5651 FAX 022-221-5686
6. 当番回期：高15、27、28、39、40回  
この回期の方々は常任委員を中心にご協力をお願いいたします。

★なお、当日は、本号を御持参下さい。

同期の方、お誘い合わせの上、  
ご参加下さい。

# 入学式祝辞

「かけがえのない三年を大切に  
恵まれた環境で充実した日々を」

同窓会長 西澤潤一



## 今日の日を忘れずに

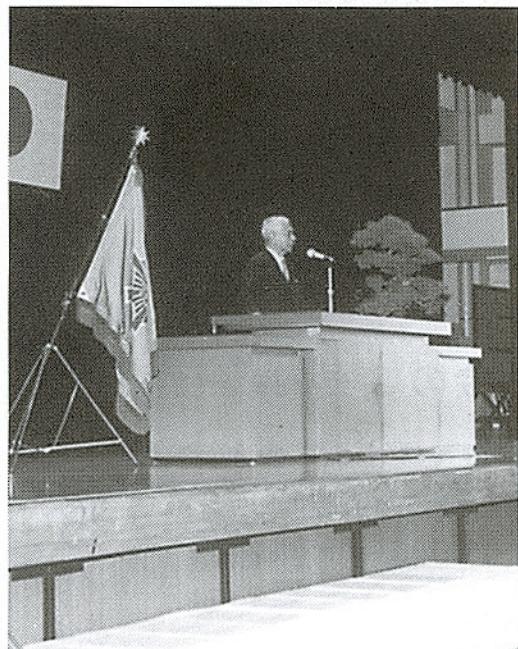
皆さん、おめでとう。

私はちょうどこれで、皆さんと同じように、この高校に入学してから六十五年になる入で、入学式のことを今でも思い出します。非常に意味のあった日だなあというふうに思います。しかし、これからみなさん方がどういう生活をしていくかということによつて、場合によれば悪い記憶の中に入ってしまうこともある。今日を、大変楽しい思い出、力強い思い出としてい出すかいなかということは、皆さん方がこれからどういうふうに努力をしていくかといふことによって決まつてくる

んだと思います。

## よき先輩の気風

今、皆さんがたはこの学校に来られたわけで、この学校のことをよく知られていると思うのですが、私なりに、思いましたといろいろな先輩方がいっぱい出ていらっしゃいます。ですが、特徴はどういうところにあるかというと、派手な動きをする方はあまりいませんでした。まさにD.N.A.で決まります。この間文部大臣リートの建物の中学校というものはなかつた。全国的にもなかつたんです。それぐらい大変恵まれた施設で、また、大変この自然環境に恵まれた中で、また、素晴らしい先生方の教えを受けながら育った方たちが、そういう人間たちが、そういうことが、そういう人間たちが、そういうことをおっしゃいました。



## 恵まれた母校の環境

をつくりあげたのではないかと思ひます。

### 科学的教育法で

よくあります。人間といふのはぜんぶDNAで決まります。この間文部大臣がおめになられるときに、科学的な教育法をやるんだと、最新の脳科学の成果も教育に応用していくということを言わされました。今まで必ずしも科学的ではない教育法をやっていた、ということになりました。教育法というのは宗教ですね。教育法というものは宗教

## 環境が性格をつくる

いずれにしましてもそういうような教育環境にいるわけあります。これはさすがになんといいましても昔、インドで人間の村に狼の大群が押しよせてくるんですね。そこにいる人間をみんな食い殺す。家畜もみんな食い殺す。そしてさて、引き上げていこんですが、不思議なことに、生まれたばかりの人間の赤ん坊を何人かさらっていくんですね。いろいろ調べた人によると、子供に死なれた母狼が母性本能を満足させるために人間の赤ん坊を連れて帰るという話がありますが、これは確かめようがありません。そし

てなところがありますから、いち調べてみると必ずしも科学的になつていないことがあるんですが、長い間の人類の経験からいふと、いつの間にか良い経験をどんどん取り入れていって、まずい経験はなづつとしきたりでやつてくる



て三ヵ月間かなんかの間に人間によって再発見されまして人間の社会に連れ戻すわけです。ところが、たった三ヵ月間の狼暮らしの体験の影響がですね、絶対に消えないんですね。生肉しか絶対食わないというような、生活の基本的なところがその三ヵ月間の間にすっかり狼的になってしまします。ですから、こういうことからお分かりのように、特に胎教と言いますか、おかあさん方のお腹の中にいると

きから、あるいは家庭教育を受ける、あるいは幼稚園、小学校、中学校というふうな過程の中で、皆さん方は知らず知らずに御両親をはじめ環境の中から皆さんの基本的な性格の中にそれが非常に強く影響されて残っているということが多いわけであります。

同じことでありますと、本学に入られたあなた方は、これから三年の間、十分に本校の環境、あるいは先生方の影響というものをたっぷり受け

て、それをこれからよいよ次は大学だと思いまが、そういうところに入つて社会に飛び立つていくときに、その力を十分に受けられて飛んでいくんだといふことを忘れないとおきたい。

今が大変重要な時です。かけがえのない時であるということを忘れないでいた

したがいまして、皆さん方はまだ勉強中であります。先ほどPTA会長さんがおっしゃったのとちょっと私の考え方違いますが、やはり基本的にしっかりした自分というもののあり方を考え、最後は選択肢の問題なんですね、自分はこういう生活したいといふのは、これはいろんなことから決まるのであります。必ずしも頭で考えていれば起

こる問題ではありません。なんとはなしに好きになつてしまつたということで、それを一生幸福に感じながら人間社会に貢献をしていくということに喜びを見い出していくところが普通の標準的な人間の生き方だと思思います。皆さん方の御両親もたぶんそれでも暮らしていらっしゃる。したがいまして、いろいろ考えたら何かありますけれども、直接的、反社会的な行動に出ます。私などもときどき振り返ってみると、あのときもしということがありますね。

ちょっとあたりが曇っていた

## 人材輩出に期待

私は社会から落伍しただろ

うということ、夜中に冷や汗

をかきながら目覚ますといふことがあります。そういうあぶないこともいろいろと経験成長していく、やがて立派な社会人になっていく。この学校の先輩が、例えられたような素晴らしい方が、みんなの中からたくさ

ん出てくるということを心から期待をするわけであります。人生は自分で設計しながら効果的にやっていくことになるんですね。そういう意味では、是非皆さん方に日記をつけることをお勧めしたいと思います。一年経つて読んでもみる。嫌になるほどショックを受けます。何だ、自分はこんなことを考えていたのかと

## 自分で設計を 自分の人生は

やはりよくものを考え、同じことを見ても、どこまで考

えていくかということは人に

よつて非常に違います。それから、もう一つ申し上げておきたいことは、私が自分の人生の中で一体どこがむだかないうことを考えております。仕事を途中で辞めることなんですね。考えていても、途中で例えば呼ばれて行くときに、ひょいっとそこで考えていたことを中止して行きます。帰ってきたときに何考えていたのか覚えていないです。いろいろみだしまして、自分でそ

と二、三行書いて、それから立っていくんですね。そういうふうにしますと、元に戻ってきたときに、あっさりここまで考えていたんだなと思つてしまつたときには、あれだけのことをおもひ出せます。人生は自分で設計しながら、この学校での三年間、十分に充実した生活を送つてくださることを心から期待いたします。皆様方の人生の出発点の大変なところです。一日たりともゆめおろそかにしないでいただきたいことをお願いしまして、私のお祝いの言葉といたします。どうもおめでとうございます。

昭和五十八年から平成十三年まで会長として、母校と同窓会に多大な貢献をされ、特に百周年記念事業に向け執念と情熱を傾注され歴史に残る足跡を残された堀田康哉名誉会長が本年一月十九日逝去されました。（享年九十歳）誰よりも母校を愛し、誰をも包容するお人柄に敬愛する同窓OBの気持ちを弔辞に託しご冥福をお祈り致します。ここに弔辞全文を掲載いたします。

弔辭

平成十六年一月二十五日

長澤潤一

前宮城県仙台第二高等学校  
同窓会会長畠田康哉先生の御  
靈前に謹んで哀悼の誠をささ  
げ、お別れの御挨拶を申し上  
げます。

挙行されました。来賓の山本壯一郎知事が「伝統ある仙台二高の学び舎に相応しい新校舎を建築することをお約束する」といった挨拶をされました。間髪を入れず先生は、PTAと合同して「仙台二高

平成十三年七月二十八日、記念事業の最大の眼目であつた「北陵館」の落成お披露目がありました。この「北陵館」は、生徒達の勉学・部活・集会・諸々の行事に利用され、生徒達の心身鍛錬に今や欠く

実践をしておられた河合校長の二中に対する熱愛の深さを物語るものであったと思ひます。

堀田先生の同窓会会长としての御活躍を思い浮かべますと、まさしく河合校長直伝の如き

した。  
一月二十一日、出棺・火葬の当日、葛岡に向かう途中、先生の柩を載せた靈柩車が高正門を入り、玄関前のローラリーを一巡、多くの二高関係者に見守られながら、先生

この出来ない施設となつております。この施設の一隅に同窓会室を特設して貴重な史料を保管できるようになり、心尽力されたのも先生であります。

誠心誠意、二中を良かれと申う熱情の溢れるものがありました。

会者定離の定めとはいえ、幽明境を異にされた先生、私は誠に寂寥哀惜の情に堪え、高校舎に最後の別れを告げられたのであります。

この「北陵館」落成記念式典の挙行と併せて催された同窓会総会に於いて予て辞意を漏らしておられた御勇退が承認されました。本当に素晴らしい御引退の花道でございました。

入学式や卒業式には必ず「野放図に育ったラワンではいけない。酷暑に耐えられた青森のヒバ・秋田の杉木曽の檜になれ。」という託を枕として、感銘深い、激しい挨拶をされました。今こ

今後、同窓会一丸となつて、先生の御遺志を大事にして母校仙台二高の教育振興に更なる支援を続けることをお誓いいたします。

会長は、医師会の大御所であり、二高同窓会員のあまねく景仰して止まぬ大先輩でありますのでここに先生と申し上げますことをお許しくださ  
い。

変色しない芸術陶板壁画で飾  
りましたが、これは同窓会か  
らの八十周年記念の豪華な贈  
り物の一つがありました。当  
時、セラミックス製の壁画は  
大変高価なものでしたが、先  
生が大塚製薬の大きいなる協力  
を引き出されて実現したもの

漏らしておられた御勇退が承認されましたが、本当に素晴らしい御引退の花道でございました。

いた青森のヒバ・秋田の杉木曽の檜になれ。」といううわさを枕として、感銘深い、激動の挨拶をされました。今こそして先生の遺影を拝見しますと、先生の素晴らしい人となりが次々と思ひ浮かべられてまいります。

校仙台一高の教育振興に更なる支援を続けることをお誓いいたします。

でありました。  
平成十二年十一月

力を展開してござりました。先生が同窓会副会長・会長として御在任中に東京の同窓会

先生は、いつも大所高所より、物事の本質を見極めなさる人でした。

力を展開してこられました。先生が同窓会副会長・会長として御在任中に東京の同窓会を初めとして全国的に支部組織が確立され、活発に機能しております。

先生は、いつも大所高所より、物事の本質を見極めなさる人でした。常に先々の事を考えて、精極果敢に遂行なさる人でした。人情味が豊かで、実に心遣

仙台二中第五代校長の河内  
朝吉先生は、校長として十

いの細やかな人でした。



から若生次長以下出席同窓会員50余名出席 3、詳細は同窓会報36号に記載しているので参照。

IV、県教育長と西澤同窓会会長との会談

平成16年1月8日（金）勝山館 県教委から白石教育長、若生、渡邊兩次長、大内室長同窓会から西澤会長、石井、高橋副会長、白石教育長から共学化について行政としての共学化方針決定からその後の取り組みと経過の説明、他県の共学化状況が報告された。西澤会長から教育改革の中では沢山の重要な課題があり、共学化は一部の問題にすぎない。共学化のみの議論で問題が解決するとは思えない。偏差値対応ではない眞の学力を向上させ、創造力のある有為な人材育成をはかるべきとの考え方述べられた。高橋副会長から①同窓会内部は、反対から賛成まで多様な意見がある。大多数が情報不足であり、今後も説明が必要。②特に、県の進め方が仙二高先行とし、市内ナンバースクール間に大きな時差が出来ることは認めがたい。各校の条件を整備しそれから提案すべきでないか。

仙台二高同窓会（会長・西澤潤一岩手県立大学長）は二十六日、仙台市青葉区の同校で臨時常任委員会を開き、県教委が決めた二〇〇六年度の同窓会共学化について協議。

終了後、取材に応じた西澤会長は各年度の卒業生代表ら約五十人が出席で出た。西澤会長によると、協議で結論をまとめる方針を決めた。

西澤会長によると、協議では、「個人的には」どちらかと言えばあまり意見聽取などをを行う方針。

上で（結論を出した）同窓会の意見を伝えたい」との意向を示した。二月にも県教委に要望する考えを示した。

一方で、西澤会長は「感

## 共学化の賛否集約へ

同窓会として今後賛否の結論をまとめる方針を決めた。

西澤会長によると、協議で意見聽取などをを行う方針。

上で（結論を出した）同窓会の意見を伝えたい」との意向を示した。二月にも県教委に要望する考えを示した。

一方で、西澤会長は「感

力低下についても実態として把握している。具体的対策をして検討の上回答したい。②学力低下についても実態として把握している。具体的対策を考えたい。との発言があった。

平成16年1月26日（月）共学化について同窓会内部での議論を深める必要があり初めての試みである各回期の常任委員の代表に絞りこんだ会議が一月二十六日（月）午後六時から北陵館で開催された。

議題は①同窓会のあり方について②共学化についての2点で出席者は64名。

会議は西澤同窓会長を座長として進められた。

### 第1回各期常任委員 代表者会議開催



冒頭、座長から宮城県の教育改革の共学化計画が、同窓会の理解が不十分なまま進められていることは残念であるが母校、後輩に対する愛情をもって有意義な議論をしたいと提案され次のような活発な意見が多数出された。

①共学化について同窓会は積極的に意見を出し合い行動すべきである。  
②一律共学化は県の一方的な押しつけではないか。  
③共学によって卒業生が百年の間培つて来た伝統が崩壊するのではないか。  
④従来、親睦団体であった同窓会ではあるがこの問題には難しい。  
⑤従来、親睦団体であった同窓会ではあるがこの問題に



⑦共学化と共に学力低下の問題についての議論必要。

⑧一律共学は画一化につながる。別学があつても良いのではないか。

⑨同期の中でも賛否が分かれている。同窓会全体の意見集約が必要になってきたのではないか。

⑩定員割れのない仙台でなぜ共学が必要か理解できない。

会議全体は共学反対多數、賛成少数の雰囲気であった。最後に西澤座長からデータが入れを行うべきではないかとの提案があり、次回で更に議論を深めることを確認し終了した。

追記 終了後、西澤会長へのマスコミからの取材があり、翌日の河北新報朝刊に関連記事が掲載されたので、転載する。

## 第2回各期常任委員 代表者会議開催

平成16年3月15日（月）  
第1回の会議に引き続き、

三月十五日（月）午後六時から第二回常任委員代表者会議が開催された。今回は共学化に関する見識を深めるため

会議の前に2名の講師から講話を聞くこととした。

一、「男女共学に関する法的見解」について三島卓郎氏（弁護士・仙二高6回卒）

（内容は別欄に掲載）

二、「高校教育改革の推進について」相澤秀夫氏（宮城教育大教授）から各三十分のお話を伺うことが出来た。

①伝統には連続性が必要、共

学によって途絶えるのでは

ないか。

②A、二高18年度実施の凍結申入れの実現

B、専門委員会の設置

C、同窓の意見集約

③共学の失敗経験を持つ宮城県が何故共学なのか。一律

をして提案すべきでないか。

④学区制は廃止し、全国から富城県へ優秀な生徒を集めることを考えたらどうか。

⑤総合的観点で教育行政を見

直す時ではないか。一律共学は時期尚早を主張すべき。

⑥県の計画進行をにらみ、時間切れにならないように対応を急ぐこと。

⑦賛成の人も発言しやすい雰囲気が欲しい。

⑧二高だけが先行するのはまずい。

⑨これから進学する人に迷いがないように。

⑩親が子供に説明できない。

⑪最悪の場合でも一律一斉を。

⑫同窓会は精神的、金銭的に学校を支えている。この問題に参加資格あり。

⑬前回、凍結申し入れを行うことになっていた。いつやるのか。

凍結申し入れについては、西澤会長からデータを添付して提出したい。データ作成を行なう委員会の設置については柴田代表委員（高1回）に立案を委任することになった。

最後に、会長から子供たちの考え方を汲み教育に反映し、個性を發揮して日本、世界のために貢献できる人材を本学

に育むことは、通説の認め

るところである。

しかし、「憲法第14条は、

人格の価値がすべての人間に

つき平等であり、人種・

宗教・性別・社会的身分等

の差異により特權を有した

り特別の不利益の待遇を受けはならない」という大原則を示したものであつて、法がこの原則の範囲内で、

各人の年令・自然的素質・

## 男女共学問題に関する法的見解

弁護士 三 島 卓 郎

一、(1) 憲法は、第3章において「国民の権利義務」について定め、その第14条第1項に、「すべての国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身

分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」とい

う規定を置いているところ、憲法第3章の規定、特に第14条第1項の規定が、「法

を不平等に適用すること」を禁止するだけでなく、

「不平等な取扱いを内容とする法の定立を禁ずる趣旨」を含むことは、通説の認め

るところである。

しかし、「憲法第14条は、

人格の価値がすべての人間に

つき平等であり、人種・

宗教・性別・社会的身分等

の差異により特權を有した

り特別の不利益の待遇を受けはならない」という大原則を示したものであつて、法がこの原則の範囲内で、

各人の年令・自然的素質・

職業・人と人との特別の関係等の事情を考慮して、道徳・正義・合目的性等の要

求から具体的規定をするこ

とを妨げるものではない」

ということは、最高裁昭和25年10月11日大法廷判決、

同昭和28年6月24日大法廷

判決等が明確に判示してい

るところであるし、「各人

について存する経済的・社

会的事実関係上の差異から

生ずる不均等な扱が、一般

社会通念上合理的な根拠に

基づいて必要と認められる

場合には、その取扱は憲法

14条に違反しない」という

ことも、また、最高裁昭和

39年11月18日大法廷判決が

明確に判示しているところ

である。

(2) それ故、教育基本法第3

条の後記(2)の規定や同法

第5条の「男女は、互いに

敬重し、協力し合わなければならぬものであつて、

教育上男女の共学は認められなければならない」とい

う規定も、右の各最高裁判決が判示している大原則の範囲内で、自然的素質・人ととの特別の関係等の事情を考慮して、道徳・正義・合目的性等の要求に照して定められている具体的規定として、解釈・適用されなければならない。

二、(1) 前記一の(2)、(3)のようない前記の下に、教育基本法第5条の規定と男女別学の是非について考察した場合、内閣総理大臣が平成12年2月18日付内閣参質147第5号をもって質問議員に対し答弁したように、教育基本法第5条は、「男女に対し、性別に関わりなく、学校における教育を受ける機会を均等に付与し、及び当該教育の内容、水準等が同等であることを確保する趣旨であり、すべての学校における男女共学を一律に強制するものではない」と思われる。またとも、右の答弁に所謂「男女に対し、性別に関わりなく、学校における教育を受ける機会を均等に付与する」所

水準等が同等であること」という点につき、宮城県下の同一学区の公立学校において、男子校と女子校との間に許容限度を超える程度の差異、即ち、別学校としての伝統、その他を考慮しても、なお、許容限度を超えると判断される程度の差異が存する場合、性別のみを理由に、高水準校への入学を許さないとすれば、憲法第14条の理念や教育基本法第3条の「すべて国民は、ひとしく、その能力に応ずる教育を受ける機会を与える教育を受けられる」という規定に反することにならざるを得ない。

従つて、今回の仙台二高の問題について論すれば、宮城県の教員配置、その他教育行政が不適切であるため、同一学区内の女子校は仙台二高と同程度の教育を受けることが不可能であつて、その差異が各学校の伝統等を考慮しても、なお許

(3) 右(2)のようない極端な場合でない限り、右(1)の考えが妥当することは当然である。(4) イ なお、憲法第14条の理念や教育基本法第3条の趣旨などについて考察する場合、それ等の法律における「平等」は、「形式的平等」で足りるのか、「実質的平等」でなければならぬのか、という点について考察する必要がある。

ロ 米国連邦最高裁は、

三、(1) なお、前記一(1)の答

弁は、引用した個所に先だ

ち男女共同参画社会基本法にも言及している。

しかし、同法は第5条に明記しているように、男女が対等な社会の構成員として「国若しくは地方公共団体における政策」又は「民間の団体における方針」の

立案及び決定に共同して参

加する機会が確保されることによって男女共同参画社

会を形成しようとするもの

であり、社会の構成員とな

る以前の、教育課程にある

生徒、児童等に対する取扱

を男女一的に共学で行な

うことなどは求めていない。

(2) もっとも、同法第10条は、

国民の責務につき「国民は、

職域、学校、地域、家庭そ

の他の社会のあらゆる分野

において、基本理念にのっ

たり、男女共同参画社会の形

成に寄与するように努め

なければならぬ」と定め

ているので、学校教育の場

においても「基本理念にのっ

たり、男女共同参画社会の形

成に寄与するように努め

なければならぬ」ことに

なるが、「男女共同参画社

会の形成に寄与する教育」

は、男女共学でなければ行

ない得ないわけではなく、

男女別学のもとでも両性の

平等につき充分な認識を持

たせ、男女共同参画社会の

形成に寄与する教育を行な

うことが可能である。

(3) 従つて、男女共同参画社

会基本法の規定は男女別学

が違法か否かということとは関わりがないと言わざるを得ない。

四、なお、宮城県教育委員会の方々が「男女共学化しなければならない理由」のひとつとして、(男女共同参画基本法の規定とともに)あげておられる「税金の中から運営費を受領している学校は、すべて男女共学でなければならない」ということは、男女共学反対派の方々が指摘しておられるようすにお茶の水女子大や奈良女子大の存在、それ自体によって、理論的に

五、最後に念のため付言すれば、前記一乃至四は、男女別学が違法であるか否かについて、私見を記載したものである。  
それ故、男女別学の妥当性については、別に論じられないべきである。

破綻していることが明らかであるが、現在、男女別学制を採用しているすべての私立校が国や地方公共団体から多額の私学助成金を受領していることに照らせば、一層そのようなことは共学化強制の理由たり得ないと思料される。

## 共学化への同窓有志の動き 「仙台二高の伝統を守る会」結成

平成十五年九月十一日の河

北新報に「仙台二高共学化取り消しを求める——OBが意見提出」の見出しで記事が掲載された。これは仙台二高のOB有志でつくる「仙台二高の伝統を守る会」が県教育委員会に男女共学化に反対す

る意見書を提出した報道である。記事には意見書の内容を

として仙台二高の共学化方針の取り消しを求めていると報じている。

この会は昨年八月結成時は清野英一氏（高6回）佐々木卿（高8回）、今年四月からは二階堂正氏（高2回）を会長として同窓有志が週一回の定期会議を行なながら同窓生在校生父母などに反対運動を働きかけ活動を続けている。

### 共学化へのアンケート 至急ご返信のお願い

共学化について同窓会会員のご意見を短期間で集約し県教委に提出の予定ですので同封アンケート葉書にご記入の上、至急ご返信ください

二、一律共学化は別学の問題点が示されない一方的な決

破綻していることが明らかであるが、現在、男女別学制を採用しているすべての私立校が国や地方公共団体から多額の私学助成金を受領していることに照らせば、一層そのようなことは共学化強制の理由たり得ないと思料される。

## 「別学は違憲にあらず」 参議院での政府見解から

公立高校及び国立大学の男女平等に関する質問主意書

男女共同参画社会基本法が施行されたが、同法に従えば、すべての公立高校及び国立大学を共学にしなければならないのか。また、公立高校及び国立大学の男女別学は、憲法第十四条の定める法の元の平等に違反するか。政府の見解を示されたい。

右質問する

平成十二年二月十八日

内閣総理大臣 小渕 恵三

参議院議長 斎藤十朗 殿

参議院議員 ※※※※（議員名）君提出

公立高校及び国立大学の男女別学に関する質問に対し、別紙答申書を送付する。

参議院議員※※※※（議員名）君提出

公立高校及び国立大学の男女別学に関する質問に関する答弁書

学校における男女の共学については教育基本法（昭和二十二年法律第二十五号）第五条の規程により、教育上尊重されるものであるが、個々の学校において男女共学とするか男女別学とするかについては公立の高等学校にあっては、地域の実情や学校の特色において当該高等学校の設置者である地方公共団体が、国立の大学にあっては、教育の目的及び理念に応じて各大学が、それぞれ判断するものである。

今後、男女共同参画社会基本法（平成十一年法律第七十八号）により、男女共同参画社会の形成という観点から、様々な制度、慣行について国民の間で広く議論される中で、公立の高等学校及び国立の大学における男女の別学の在り方についても、必要な検討がなされていくものと考える。

また、憲法第十四条の趣旨を踏まえて、教育基本法では、人種、信条、性別等によって教育上差別されないこと及び教育上男女の共学は認められなければならないことが定められているが、これは男女に対し、性別にかかわらず、学校における教育を受ける機会を均等に付与し、及び当該教育の内容、水準等が同等であることを確保する趣旨であり、すべての学校における男女の共学を一律に強制するものではない。

したがって、個々の公立の高等学校や国立の大学が男女別学であっても、同法及び憲法第十四条に違反するものではないと考える。





## 論壇

元教員

高橋忠良

(66歳・宮城県亘理町)

宮城県教育委員 拙速に行政権を盾 会が県立高校の一 にして「男女共同 のかという問題も 律共学化の方針を いるものもあるま められている中で、 校の共学化を推進 ある。まして別学 共学か別学かの論 を目指す論拠だけ に弊害や問題が出 打ち出した。以来、 高校の共学化が進 て、公立高 をもって、公立高 校の共学化を推進 いるわけではなく、 に再燃してきた。 感がする。

八月二十日付本 欄に掲載された小 田中直樹氏の投稿 は、「一律共学化は、 性別による入学制 限をなくするとい うメリットがある。 一律共学化は、男 女共同参画につい て考える好機であ り、共学化は推進 すべきである」と 述べておられる。 少し異論があるの で、以下私見を述べてみたい。

□ ■ □ 一律共学化は、男 女共同参画につい てこのこと とが強調されると、 これが実現できな いものもあるま だから実現できな いものもあるま いものもあるま は好ましくない」 者を含め、問題が ある。まして別学 い。公立高校の完 全共学化は、言つ てみれば、高校教 育の形の問題であ きるかというこ とである。

憲法の精神でも ある「法の下の平 等」や「男女共同 参画社会の実現」 は否定しない。しかし、識 者によつては、多くの人 行政権を行使する者は、多くの人 の充実こそ大事な のではないかと思 う。

十分な論議を尽くして 第四は、公立高 校の共学化だけに かかるが、これか らの高校教 育をいか に構築するか が問われている。

第三に、小田中 ということに視点 を変え、公立高校 の共学化について 抽出されたわずか 学化を急ぐあまり、 公立高校の市立共学 化を推進しようと は、時間をかけて な賛否の結果から 即実施となること ないという理由で、 入学制限である学 区制についても、即決されないことを切望する。

（投稿）

亘理の共学化

第一に、多くの人の意見を封じ、 男女別学を希望する者をいいたいと うしようとするのか。また、別学を 伸長を目指す教育 伸長を目標とするか が問題であるが、 それについても、 その結果から即実施となること ないという理由で、 入学制限である学 区制についても、即決されないことを切望する。

在校生、同窓生、いま一度見直す必要があるのではないか。そのためにはな

い。公立高校の完全共学化は、教職員、父母、地域の人々が意見を述べる機会を十分に持つべきである。これらの問題は、必ずしも男女別学を希望する中でも、「性

十五年九月七日の河北新報より転載



岩手北陵会員県内居住分布



例年一月第四土曜日を恒例として岩手北陵会を開催しており、今年も本部から三浦勇事務室長、石井康宏校内幹事（高31回）両氏をお迎えして一月二四日例会が行われました。

鈴木 恒夫（高5回）  
副会長

（平成16年度）

## 岩手北陵会便り

当日は、前同窓会長堀田康哉先生のご葬儀が仙台で執り行われおりました。出席者一同、黙祷をささげ先生のご冥陶に感謝し、ご冥福をお祈りいたしました。ご葬儀には会を代表して斎藤量人氏（高27回）が出席し弔意を表しました。堀田先生には昭和五十七年この会発足以来殆ど毎年ご改めて感謝を申し上げご冥福をお祈り致します。

当日は、前同窓会長堀田康哉先生のご葬儀が仙台で執り行われおりました。出席者一同、黙祷をささげ先生のご冥陶に感謝し、ご冥福をお祈りいたしました。ご葬儀には会を代表して斎藤量人氏（高27回）が出席し弔意を表しました。堀田先生には昭和五十七年この会発足以来殆ど毎年ご改めて感謝を申し上げご冥福をお祈り致します。

# 同支部総会開催報告

## 開催報告



さて会は例年通りの式次第で行されました。本年度は訃報として村瀬正夫殿（中43回）、高橋収殿（高1回）、杉谷利昭殿（高2回）、及川忠昭殿（高6回）がご逝去されております。一同慎んで默

祷を捧げご冥福をお祈り申し上げました。

当日はご多忙中のところおいでいただいた

三浦、石井両先生から母校及び同窓会の現状

について、お話を伺いました。昨今話題となつて

ている男女共学のことなどについて話し合いました。

岩手県北陵会は本例会の他、仙台一高との結論はでませんでした。

会は例年通りの式次第で行されました。本年度は訃報として村瀬正夫殿（中43回）、高橋収殿（高1回）、杉谷利昭殿（高2回）、及川忠昭殿（高6回）がご逝去されております。一同慎んで默

祷を捧げご冥福をお祈り申し上げました。

本校史上最大の悲劇として忘れ得ない事件は一九一八年十月二十三日の藏王遭難である。当時の校長は第三代の渡辺文敏先生であった。

今回、きしむも先生のご遺族縁りの松浦氏と二高同窓会員千葉英之氏（高4回）との奇跡的な出会いがありドラマとも思える感動的な原稿が寄せられている。ここに全文を掲載する。

出席者は氏家和国会長（中44回）以下十五名でした。（平成十五年十二月三十一日現在の会員数一〇四名内、中三十一名、高七十三名）。以上、岩手北陵会便りとします。

会員短信

## 蔵王の悲劇が結ぶ縁

——仙台一高と柏崎高

高4回卒 千葉 英之

「君が仙台一高出身というのは、以前から知っていたの

で、機会を見つけて、ぜひ聞

いてもらいたいと思っていた」

——三十年來のジャーナリスト仲間である松浦孝義さん

立食パーティで、久しぶりに、彼に再会した時のことだった。

太平洋側と日本海側と、遠く隔てた宮城県仙台一高と新潟県立柏崎高校が、藏王遭難の悲劇の糸で、結びついているという、思いもつかない衝

擊的実事だった。それは、涙を誘う感動の秘話でもあった。

柏崎高校といえど、前身が旧制柏崎中で、創立一〇四年の歴史があり、政、官、財、学の各界に幾多の人材を輩出している上越地方の名門校である。新潟県の平山征夫知事（現職）も同窓生である。皇太子妃・雅子さまの祖父、小和田毅さんが十四代目の校長をつとめ、また父、小和田恒元国連大使（元司法裁判所判事）が二年余在学したことでも知られている。最近は、昨春の選抜高校野球に、二十一世紀枠で初出場して話題になり、北朝鮮拉致被害者の一人、蓮池薰さんの出身校として、つとに有名になっている。

その柏崎高校と仙台一高が、どうして？ 身を乗り出して聞き入る私に、数日後、松浦さんは“証拠”となる、柏崎中・柏崎高同窓会報や在京同窓会報など十数点の資料を届けてくれた。実は、彼自身が柏崎高の出身者で、私と同様に“人生の午後”を迎えた今、在京同窓会の事務局長を引き受け、会報の編集にも携わっているということもわかった。事実に詳しいのも道理である。

資料を一読して要約した結果を、お伝えしたい。

兩校を橋渡ししたのは、明治文敏さんである。渡辺さんは、旧制柏崎中の初代校長をつとめている。

経歴をたどると、一八七年（明治三十一年）山形県西田川郡鶴岡町生まれ。高等師範学校卒業後、教職に就き、一九〇〇年（明治三十三年）に創立した柏崎中の初代校長となり、七年余在職した。その後、新潟・新発田中、秋田・本荘中、新潟中の校長を経て、一九一三年（大正二年）に仙台二中（旧制）に三代目の校長として迎えられている。つまり、時を隔てて、柏崎中と仙台二中の両校長をつとめていたのである。そして、仙台二中在校時に、あの悲劇に見舞われる。

一九一八年（大正七年）十月二十三日、教諭四人が引率し一五一人の生徒が藏王登山道を見失った九人（生徒七人、教諭一人）が遭難死した痛ましい事件である。

仙台一高（現在）側では今も世紀を越えて言い伝えられ、供養を続けていた創立以来の



○年（明治三十一年）山形県西田川郡鶴岡町生まれ。高等師範学校卒業後、教職に就き、

最大の悲劇である。渡辺校長は、この遭難の責任を取って四十歳で職を辞している。その後、渡辺一家は東京・千駄ヶ谷に転居している。渡辺さんは、周囲から再三、再就職のすすめがあつたが、すべて断り、ひたすら犠牲者の鎮魂と慰靈につとめる日々で、度々教壇に立つことはなかったという。

渡辺さんの遺児で、三女の宮崎のぶ子さんが、創立九〇周年の柏崎高同窓会誌に手記を寄せている。その中から、

『父が仙台二中で在職中、学生の修学旅行で、蔵王の山越えの時、とても痛ましい事件が起ってしまった。それは、登山の途中、俄かな天候の激変で、大吹雪となり、ついに山中の石室の中で、二人の先生と七人の生徒が凍死してしまったのです。言葉も無いほどの悲しい事件が起ってしまいました。父は事件後

の、いろいろな処理を果たし、済ませ、責任を取って退職してしまいました。父は事件後家族は東京に移り住むことになりました。それから父は、どなたのご親切な（再就職についての）お計らいも、断りつけました。母は、これから

と、とても父の態度を訝しく思つたそうです。しかし、ある機会に、父の真意を知り、父の胸中の傷み、悲しみの深さに胸うたれ、それからは何も言えなかつた、と後になつて母から聞かされました。それは『遺族の方々の心中を思えば、自分の事など、今はとても考えられぬ。亡くなつたことを、どなたかからのお話を、母が知つたからとのことでした。私は豪放そうな父の一面を知り、涙ぐんでしまつたことを覚えておりました』

ちなみに、仙台二中、二高百年史の中では、渡辺さん

ですが、渡辺さんの悲運の系譜は、ここで、とどまらなかつた。

渡辺校長に対する非難はなかつた」と。

柏崎を離れて、二十年後の一九二八年（昭和三年）十月十六日に、懐かしい柏崎中の講演に、講師として招かれている。講堂の演壇に立ち、全校生六五〇人（該当、中25回

について、以下のようないいふて、以下のような記述がある。「大人（たいじん）の風貌があり、豪放に見えて細心周到なところがあり、威厳の中に温情のあつた人である。学校経営に熱意を有し、教育内容の充実と校風の刷新に鋭意努力された。蔵王遭難事件で、責任をとり退職されたが、渡辺校長に対する非難はなかつた」と。

だが、渡辺さんの悲運の系譜は、ここで、とどまらなかつた。

泊崎を離れて、二十年後の一九二八年（昭和三年）十月十六日に、懐かしい柏崎中の講演に、講師として招かれている。講堂の演壇に立ち、全校生六五〇人（該当、中25回

について、以下のようないいふて、以下のような記述がある。「大人（たいじん）の風貌があり、豪放に見えて細心周到なところがあり、威厳の中に温情のあつた人である。学校経営に熱意を有し、教育内容の充実と校風の刷新に鋭意努力された。蔵王遭難事件で、責任をとり退職されたが、渡辺校長に対する非難はなかつた」と。

泊崎を離れて、二十年後の一九二八年（昭和三年）十月十六日に、懐かしい柏崎中の講演に、講師として招かれている。講堂の演壇に立ち、全校生六五〇人（該当、中25回

について、以下のようないいふて、以下のような記述がある。「大人（たいじん）の風貌があり、豪放に見えて細心周到なところがあり、威厳の中に温情のあつた人である。学校経営に熱意を有し、教育内容の充実と校風の刷新に鋭意努力された。蔵王遭難事件で、責任をとり退職されたが、渡辺校長に対する非難はなかつた」と。

泊崎を離れて、二十年後の一九二八年（昭和三年）十月十六日に、懐かしい柏崎中の講演に、講師として招かれている。講堂の演壇に立ち、全校生六五〇人（該当、中25回

について、以下のようないいふて、以下のような記述がある。「大人（たいじん）の風貌があり、豪放に見えて細心周到なところがあり、威厳の中に温情のあつた人である。学校経営に熱意を有し、教育内容の充実と校風の刷新に鋭意努力された。蔵王遭難事件で、責任をとり退職されたが、渡辺校長に対する非難はなかつた」と。

泊崎を離れて、二十年後の一九二八年（昭和三年）十月十六日に、懐かしい柏崎中の講演に、講師として招かれている。講堂の演壇に立ち、全校生六五〇人（該当、中25回

について、以下のようないいふて、以下のような記述がある。「大人（たいじん）の風貌があり、豪放に見えて細心周到なところがあり、威厳の中に温情のあつた人である。学校経営に熱意を有し、教育内容の充実と校風の刷新に鋭意努力された。蔵王遭難事件で、責任をとり退職されたが、渡辺校長に対する非難はなかつた」と。

泊崎を離れて、二十年後の一九二八年（昭和三年）十月十六日に、懐かしい柏崎中の講演に、講師として招かれている。講堂の演壇に立ち、全校生六五〇人（該当、中25回



# 「北杜会」に吹く新しい風

世話人会 文責・鈴木 杜夫

一十五年間、二十七回のセミナーを開催してきた在京同窓生の小さな懇談会「北杜会」に新しい風が吹き始めました。主宰者の青山史朗氏（中40回卒）は既に傘寿を過ぎ同窓会への奉仕も五十余年、御自身の人生を豊かにしてくれた多数の同窓生に感謝しつつ、惜別の思いをこめて「北杜会」運営を後輩に託されました。

昨年十一月、八十二才を迎えた直前のことでした。自発的に五人が名乗り出て世話を会を結成、年明け早々「北杜会」の新しい運営が始まりました。会員は青春時代のたった三年間、仙台二高という通過点だけが共通なだけで年齢も三世代にわたり会への「思い」も様々なため、今後の「北杜会」のあり方を次のように決めました。

(1) 会員ひとりひとりが当事者意識をさらに強め「発信・発光」する。  
主旨は同窓生だからこそ可

能な年代を超えた交流を目指したいからです。方策の一つは「青葉山天空トンビ」という個人情報紙を「発信者」は作成して、例会当日受け付けて配布する。内容は他会員に報せたい情報（書籍・催事・NPO・仙台関連等々）です。大空をゆったりと翔ぶトンビの鳴き声に会員の「発信」をイメージしました。

(2) 克服すべき難題に目を向け、関心を共有する。

今年の講演のテーマは「食糧」「エネルギー」「環境」としました。同窓生を主体に講師をお願いして、飾らない、地に足がついた実りある講演を期待しております。三月例会は「食糧」で坂本進一郎氏（高11回卒）、五月例会は「エネルギー」で千葉英之氏（高4回卒）、六月例会は浅野史郎氏（高18回卒）、六月例会は大正七年・本校史上最大の悲劇「蔵王遭難」を当時の校長渡辺文敏先生の遺児渡辺宏

氏（八十五才）を囲む会、七月例会は「環境」で遠藤堅治氏（高11回卒）を予定しております。開催は週日の夕方です。興味を抱かれ、オレも新しい風を吹かすぞと思われた同窓生はお問い合わせ下さい。肩を組み合い、凱歌を歌う、あの瞬間の充実感あふれる楽しい会にしたいと思っていま

す。世話人会の5人は鈴木莊夫（11回）堀内豊太郎（12回）西條昭将・鬼宗久（15回）日野克彰（32回）です。野克彰（32回）です。世話人会の5人は鈴木莊夫（11回）堀内豊太郎（12回）西條昭将・鬼宗久（15回）日野克彰（32回）です。

舞台は四月一日の西武ドームに入団した江尻慎太郎君（投手）が嬉しいプロ初勝利を挙げました。この日、今シーズン初めて一軍登録されたばかりの江尻君は、三連敗中のチームの流れを変えるべく先発のマウンドに上がり、好調西武打線に対峙しました。序盤から味方の援護にも恵まれ、快調に投げ続け、六回まで無得点に抑えました。七回一死から西武大島選手に3ランを浴びたところで惜しくも降板しましたが、打者二六人、被安打五、奪三振五という九六球の熱投でした。

一年前の四月三〇日。イーブル北海道日本ハムファイターズに入団した江尻慎太郎君（投手）が嬉しいプロ初勝利トノーランを記録しました。そんな「げんのいい」場所で初勝利は達成されました。

「もうファームへは戻らないぞ、といった後のないつもりでいきました」試合後こう語る江尻君には、一勝を挙げた後のこれからこそが、プロとして華々しい活躍を求めることがあります。先

發ローテーションの一角を担いながら、是非白星を重ね続けてほしいと思います。同窓生諸氏の熱い声援も、よろしくお願いいたします。

# プロ初勝利!!

高48回で、01年に自由獲得枠で北海道日本ハムファイターズに入団した江尻慎太郎君（投手）が嬉しいプロ初勝利を挙げました。

トノーランを記録しました。

そんな「げんのいい」場所で初勝利は達成されました。

江尻慎太郎君（北海道日本ハムファイターズ・高48回）

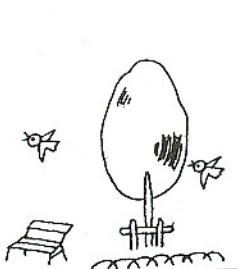
一年前の四月三〇日。イーブル北海道日本ハムファイターズに入団した江尻慎太郎君（投手）が嬉しいプロ初勝利トノーランを記録しました。そんな「げんのいい」場所で初勝利は達成されました。

「もうファームへは戻らないぞ、といった後のないつもりでいきました」試合後こう語る江尻君には、一勝を挙げた後のこれからこそが、プロとして華々しい活躍を求めることがあります。先

發ローテーションの一角を担いながら、是非白星を重ね続けてほしいと思います。同窓生諸氏の熱い声援も、よろしくお願いいたします。



<日刊スポーツ新聞社提供>



お問い合わせ先電話  
鈴木 壮夫 ○四九一二二六一一六一六  
(午後二時~七時)  
メール 西條昭将 nishijyou@mail.hinoya.ne.jp  
H.P. 北杜会専用のH.P.を作成しました。

<http://www.mscorp-net.com/hokuto-kai/>

高48回で、01年に自由獲得枠で北海道日本ハムファイターズに入団した江尻慎太郎君（投手）が嬉しいプロ初勝利トノーランを記録しました。そんな「げんのいい」場所で初勝利は達成されました。

「もうファームへは戻らないぞ、といった後のないつもりでいきました」試合後こう語る江尻君には、一勝を挙げた後のこれからこそが、プロとして華々しい活躍を求めることがあります。先

發ローテーションの一角を担いながら、是非白星を重ね続けてほしいと思います。同窓生諸氏の熱い声援も、よろしくお願いいたします。

## 平成16年度 大学入試結果

## 国立大学

大学名	計	現役生	浪人生
旭川医大	1		1
室蘭工大		1	1
北海道大	10	5	5
弘前大	1		1
岩手大	4	2	2
東	文 法 經 理 工 医 保 齒 藥 農	9 13 13 7 45 3 3 2 2 4	5 10 7 5 26 3 2 2 2 2
小計	99	57	42
宮城教育大	6	5	1
秋田大	3	1	2
山形大	15	8	7
福島大	3	2	1
茨城大	1	1	
筑波大	3	2	1
宇都宮大	3	1	2
埼玉大	2	1	1
千葉大	3		3
電気通信大	1	1	
東京大	14	9	5
東京学芸大	2	2	
東京工業大	4		4
東京農工大	3		3
一橋大	8	4	4
横浜国立大	6	4	2
新潟大	6	2	4
富山医薬大	1		1
金沢大	2	1	1
静岡大	1		1
名古屋大	1	1	
京都大	4	3	1
大阪大	4	1	3
大阪外語大	1	1	
神戸大	2		2

大学名	計	現役生	浪人生
高知大	1	1	
国立大学計	216	116	100

大学名	計	現役生	浪人生
成蹊大	3		3
成城大	8		8
中央大	44	7	37
東京音大	1	1	
東京農業大	4	1	3
東京薬科大	1		1
東京理大	40	6	34
東邦大	1		1
東洋大	2		2
日本大	10	1	9
法政大	11	2	9
龍谷大	1		1
武藏工業大	1		1
明治大	20	3	17
明治学院大	3		3
立教大	8	2	6
早稲田大	43	11	32
昭和音楽大	1	1	
同志社大	9	3	6
立命館大	23	5	18
産業医科大学	1	1	
関西大	3		3
関西学院大	3		3
立命館アジア	1		1
北海道薬科大	1		1
東京工科大	1		1
獨協大	5		5
駒沢大	2		2
神奈川工科大	1		1
鶴見大	1		1
北陸大	1		1
近畿大	2		2
私立大合計	379	73	306

## 公立大学

大学名	計	現役生	浪人生
宮城大	5	4	1
福島県立医	1		1
高崎経大	1		1
東京都立大	4	3	1
横浜市立大	4	4	
名古屋市大	1		1
公立大学計	16	11	5

## 大 学 校

大学名	計	現役生	浪人生
航空保安大学校	1	1	
水産大学校	1	1	
防衛大学校	2		2
大学校計	4	2	2

## 私立大学

大学名	計	現役生	浪人生
岩手医大	4	2	2
東北学院大	21	4	17
東北工業大	2	1	1
東北福祉大	2	2	
東北薬大	5		5
獨協医大	1		1
青山学院大	3		3
亞細亞大	1	1	
学習院大	1		1
北里大	2	1	1
慶應大	37	13	24
國學院大	5		5
芝浦工大	27	1	26
上智大	12	4	8

## 外国留学

大学名	計	現役生	浪人生
テキサス大	1	1	
ペンシルベニアシール大		1	1
アールハムカレッジ		1	1
大学校計	3	3	

○ 叙勲・受章 ○

平成十五年秋

瑞宝双光章

平成十六年春

塚本健治 殿 (中44回)

瑞宝中綬章

佐藤寿雄 殿 (中42回)

旭日小綬章

伊澤平一 殿 (高4回)

心よりお慶び申し上げます。

今春の人事異動

▼転職の先生方▲

菅原 勝志 教諭 (英語)

海老名和雄 教諭 (英語)

佐藤 誠徳 教諭 (化学)

奥山 春雄 教諭 (国語)

山本 高義 教諭 (国語)

早坂 美香 講師 (家庭)

熊谷喜枝子 非常勤講師 (家庭)

鶴川 恵子 臨時職員

内田よしみ (名取養護)

千田 芳文 教頭

▼転任の先生方▲

(教職員課)

熱海 有子 教諭 (音楽)

(名取養護)

須藤 亨 教諭 (生物) (仙台向山高)

佐々木武夫 主任技師

(仙台向山高)

平成13年 11/9 小野寺弘昭殿 高10回  
12/30 安藤 敬治殿 中47回平成14年 3/24 山家 真殿 高4回  
9/4 武田 三郎殿 高7回平成15年 1/18 丸谷 和夫殿 中44回  
2/13 角野 浩一殿 中40回2/13 菊池 弘毅殿 中47回  
8/16 板垣 純造殿 中38回2/13 南澤 好晶殿 高7回  
8/25 佐藤 伸殿 中39回9/6 佐藤 勉殿 高4回  
9/8 佐藤 弘之殿 中36回9/16 鈴木 康也殿 高10回  
11/8 佐藤 道雄殿 高7回10/16 鈴木 弘志殿 中45回  
11/13 佐藤 勝也殿 高5回11/24 小西 康之殿 高9回  
12/8 小幡 康介殿 中32回12/24 堀田 高7回  
1/19 高野 康哉殿 中36回12/26 櫻井 良三殿 中44回  
1/19 高野 康哉殿 高10回12/26 櫻井 康介殿 高10回  
1/19 高野 康哉殿 中36回12/26 櫻井 康介殿 高10回  
1/19 高野 康哉殿 中36回

計報

事務局だより

今後この新たな体制で、校内活動、同窓会活動を行ってまいります。

会員の皆様におかれましては、常日頃から本校同窓会の活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

白雲崖の桜

集記

が咲き、今年も新入生が、対一高定期戦に向けて、応援団幹部の指導の下、応援練習に励んでいます。そのかわらぬ春の光景を眺めておりますとさまざまな感概が浮かんできます。

編後

にかけて、応援団幹部の指導の下、応援練習に励んでいます。そのかわらぬ春の光景を眺めしておりますとさまざまな感概が浮かんできます。

同窓会事務局長が、昨年度の石井康宏教諭から今年度は戸田慶三教諭に変わりました。

どうか宜しくお願ひ致します。

同窓生の教員( )内は

同期は、渡辺尚人教頭(矢

本高より今年度転任、高26)、

佐々木文朗(一女高より今年

回期)は、戸田慶三教諭(

本高より今年度転任、高26)、

佐々木文朗(一女高より今年

回期)は、戸田慶三教諭(

本高より今年度転任、高26)、

佐々木文朗(一女高より今年

回期)は、戸田慶三教諭(

本高より今年度転任、高26)、

佐々木文朗(一女高より今年

回期)は、戸田慶三教諭(

本高より今年度転任、高26)、

佐々木文朗(一女高より今年

た。



今春の人事異動

(早坂重行・高37回)

筆・編集にご協力いただいた

皆様に感謝申し上げて、編集

後記と致します。

今回の同窓会報の記事の執筆・編集にご協力いただいた

皆様に感謝申し上げて、編集後記と致します。